

得する社長、 損する社長

中小企業のための
確定拠出年金



一般社団法人
中小企業退職金制度支援協会
代表理事

花城正也

④ はじめに――中小企業の退職金が足りない！

もし、5000万円の退職金がもらえたら、みなさんは何をしたいですか？

ずっと忙しく働いてきた方は、お金のことを気にせずゆつくり旅行を楽しみたいかもしれません。長い間支えてくれた配偶者を連れて、少しぜいたくな食事に出掛けるのも素敵です。古くなつてきた家をリフォームしたい方もいるのではないのでしょうか。私のお客様の中には、「年に1回ハワイに行きたい」「セカンドキャリアとして、小さなお店を営みたい」という方もいます。

これだけのお金があれば、夢もふくらみます。

しかし、残念ながら中小企業の現実には、以下の通りです。

自分の老後資産を考えると、会社を売るしか方法がなかった（70代経営者）

新卒から42年、部長職にまで上り詰めて、たったこれだけ……？（60代会社員）

東京都産業労働局が算出した「中小企業の賃金・退職金事情（令和2年版）」によると、4年制大学を卒業し、30年間同じ会社に勤めた人で退職一時金（みの場合）の平均値は、約600万円です。高卒の場合は約480万円に下がります（自己都合退職の場合）。これらは、業績の良い会社の退職金も含めた、東京都産業労働局が算出した平均値です。中央値や、地方の企業はもっと低い可能性があります。私のお客様にも「10年も働いてくれたのに、30万円に満たない退職金しか渡せなかった」と悲しんでいる経営者の方がいました。

2019年には、「老後2000万円問題」が大きな話題になりました。

これは、金融庁の金融審議会「市場ワーキング・グループ」の報告書で「老後20年間不足のお金が1320万円〜1980万円に上る」と発表され、物議を呼んだものです。

この話がニュースに取り沙汰されたとき、たぐさんの人が「いまから2000万円を貯めるなんて、とてもじゃないけれど無理だ」と不安になったと思います。ただ、追い討ちを掛けるようで申し訳ないのですが、老後2000万円問題はあくまで

2019年時点の計算結果に過ぎません。私は実際のところ、「最低3000万円」必要だと考えています。

では、どうやって老後資産をつくるのか。

先述の通り、中小企業の退職金は決して十分とは言えません。超低金利の時代、貯蓄のみで3000万円を準備するのも難しくなってきました。公的年金の受給額も、残念ながら減っていきます。これらは、本書で述べるまでもなくみなさんご存じのことでしょう。

本書の目的は、こうした老後資産の問題に対して。最善と思われる解決策をお伝えすることです。

私は一般社団法人中小企業退職金制度支援協会で代表理事を務めています。公的年金のみに頼ることができない現代。日本で暮らす人全員が、金融知識の向上によって資産形成を実現し、豊かな老後生活を送ることができる社会を目指して当協会を設立しました。

同協会のほか、株式会社アーリークロス、税理士法人アーリークロスの運営も行い、主に中小企業の経営判断のコンサルティングや、財務のサポートを請け負っています。ありがたいことに、グループ全体で年60〜70回ほどのセミナー登壇の機会をいただいています。

日々、たくさんのお客様から不安の声をいただいています。少なくとも老後2000万円問題はなんとか解消してあげたい。そのような思いから、「つみたてNISA」「不動産投資」といった資産形成の手法をお伝えしてきました。

しかし、結果は芳しくありませんでした。老後のお金に不安を感じていても、ほとんどの人にとってはまだ遠い未来の話。仕事や毎日の生活で忙しい中で、投資を始めるための口座の開設、商品の選択、関連知識の勉強はついつい後回しになってしまいがちです。そもそも、投資に対して抵抗を持つ方も一定数います。

もつと気軽に、もつとリスクを抑えて資産づくりができる方法はないか。そう考えていたときに出会ったのが、本書で取り上げる「企業型確定拠出年金（以下、企業型

DC)」です。

企業型DCとは、企業、もしくは社員が掛金(拠出金)を毎月積み立てし、社長や従業員といった加入者が、自ら年金資産の運用を行う制度です。

大きく分けて次のようなメリットがあります。それぞれ、本書の各章でご説明していきます。

- ・社長の退職金を全額損金で準備できる(第1章)
- ・社員の老後の資産を効率良く形成できる(第1章)
- ・税制優遇がすごい(第1章)
- ・人材が採用しやすくなり、定着率も向上する(第2章、第3章)
- ・従業員のモチベーションや生産性が向上する(第2章、第3章)
- ・社会的なインパクトを起こす(第2章、第5章)

企業型DCをうまく利用すれば、社長の退職金は5000万円、従業員も

3800万円を準備できる可能性があります。そうなれば老後2000万円問題はもちろん、3000万円のラインも企業型DCのみでクリアできます。

さらに、お金の問題解決を皮切りに、企業、そしてそれを取り巻く社会にまで好影響を与えていくのが企業型DCです。まだイメージしづらいかと思いますが、各章ですっかりお話ししていきます。

これまで企業型DCの導入を支援させていただいた企業からは、たくさんの喜びの声をいただいています。

「もつと早く知りたかった」

「デメリットはほとんどなく、メリットはたくさん」

「従業員の将来も整えられて、安心した」

各章の最後に、実際に企業型DCを導入したお客様へのインタビューを掲載していきますので、参考に見てみてください。

会社を引っ張ってきた社長、そして、会社に貢献してきた従業員の方々の将来が不安視される中、企業型DCは必ず助けとなるはずでず。

企業型DCは、導入から運用までそれほどハードルが高いものではありません。かかる費用も、得られる対価と比べればずっと安いものです。

最近では、企業型DCのメリットを知る方も少しずつ増え、ありがたいことに当協会への依頼も増加しています。税理士法人グループとしては、企業への企業型DC導入支援数が全国1位になるまでに至りました（2022年1〜10月）。

そして幸運にも、その実績をもとに企業型DCの魅力や資産形成の方法を伝える本書の出版が決定しました。企業型DCが解決する課題、社会に与える影響を、この本を手にとってくださったみなさんにも知ってもらおう機会ができて、とてもうれしく思っています。

制度の仕組みや運用の仕方について、なるべく詳細にお伝えしていくつもりですが、わからないこと、困ったことがあればいつでもご相談ください。

本書によって、中小企業で働く方がお金の不安から解放され、老後はもちろん「いま、この瞬間」をいきいきと過ごせるようになることを願ってやみません。

第 1 章



知らないだけで損する 企業型確定拠出年金

企業型DCで退職金を育てる ……	018
企業型DCの仕組み ……	030
企業型DCのすごい税制優遇 ……	035
企業型DCのデメリット ……	039
ほかの制度と比べてこんなにお得で便利 ……	048
なぜ大企業にしか普及しなかったのか ……	053

第 2 章



中小企業こそ
企業型確定拠出年金を
導入すべき理由

事業承継問題の本質は …… 066

ますます厳しくなる人材採用への効果 …… 073

企業型DCが常識になる時代 …… 079



企業型確定拠出年金で 実現する資産形成

- 投資とは新しい価値を生み出すもの …… 092
- 結局、いくら投資すればいいのか …… 099
- 投資商品の選び方 …… 105
- i De Coと企業型DCの違い …… 115
- 最大限トクする受け取り方 …… 121



企業型確定拠出年金の 導入ステップ

- 「我が社にぴったり」な設計を …… 142
- 企業型DC導入の8ステップ …… 148
- より効果的な運用のために …… 160
- サポート会社の選び方 …… 167



【特別対談】マネーフォワード執行役員 瀧俊雄氏を迎えて

企業型確定拠出年金が

企業と社会に与えるインパクト

「企業のリスクに働く人の
老後のリスク」にしない …… 179

「出口」を考えるきっかけに …… 185

「ピュア」な制度が会社と

日本の未来を明るくする …… 193

企業型DC導入事例インタビュー

- ① 引退後のセカンドキャリアを…… 059
 - ② 私の会社を選んでくれた従業員ののために…… 085
 - ③ 社員の家族も幸せに…… 135
 - ④ 「キリギリス」に冬を教えるために…… 170
 - ⑤ 「アクティブなおばあちゃんになりたい」…… 203
- おわりに 投資が「いま」を豊かにする…… 210

本書の内容は、2022年10月時点の情報をもとにしています。企業型確定拠出年金やその他の制度、税制などは変更される可能性もありますのでご注意ください。

本書に掲載する資産運用のシミュレーション金額は、1カ月に1回再投資した複利で計算しています。税金、手数料、費用等は考慮しておらず、実際の運用結果とは異なります。金額はあくまでもシミュレーションであり、特定の商品の購入の推奨や、将来の運用成果を保証するものではありません。また、投資に関する内容は信頼できる情報に基づいていますが、その正確性などについて保証するものではありません。

本書の情報によって生じたいかなる損害やトラブルについて、出版社および著者は責任を負いかねますので、ご了承ください。

ブックデザイン 別府拓 (Q.design)

企画協力 ADXL 株式会社

編集協力 土橋水菜子

株式会社 POWER NEWS

校正

加藤義廣 (小柳商店)